

特別支援学校での 年間指導計画作成の実践について

～「職業生活」の題材配当と教材準備を通して～

小出特別支援学校川西分校（高等部） 細井 哲明

特別支援学校での授業

～主たる障害が知的障がいの場合～

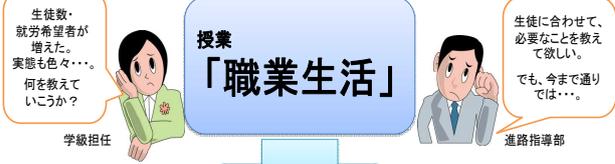


目の前の生徒・在籍する学校にあった形で、
教師が自ら考え、教材準備し、構成する必要がある。

ねらい・目標

進路指導部の重点目標の一つ

○ 将来の職業生活に必要な基本的な知識、技能、態度を身に付ける。



卒業に向けて、「職業生活」で学習すべき内容の整理が必要

- 3年間を見据えた年間指導計画作成
- 指導教材(進路ノート・実習日誌)の整理

編成に向けて



学ぶべき時期を検討する
(3カ年・学校行事・実習時期との照らし合わせ)

題材の内容を見直し、整理を行う

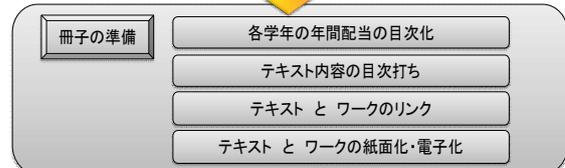
年間授業時数 と 題材内容 から
年間配当計画を立てる

各学級で授業開始の準備ができるように、
冊子で準備する(計画・教材)

各視点での検討の流れ

授業時数を学年ごとに抽出
検討した内容をさらに検討し、計画作成

- | | |
|----------------|---------------|
| 各学年での意識すべき取組 | 整理された取り扱い内容 |
| 年間の中で学校行事の配当 | 授業単元ごとにテキスト内容 |
| 1年の中で学習して欲しい時期 | テキスト と ワークの分離 |



計画・教材の完成



「進路ノート」は、
新潟県進路指導担当者用
「就労支援情報共有システム」
にUPLしています。



成果と課題

- 指導内容の確認ができた
- 3年間の見通しをもつことができた
- 経済的な削減
- 個別対応・課題対応が容易に

- ▽内容が非常に多い
- ▽計画がタイト
- ▽今後も検討が必要
 - ・内容の難しさが残る
 - ・過去の時事的な内容もある
- ▽検討にかなりの時間が必要

まだまだ
課題が

